

## 令和7年度全国学力学習状況調査の結果

京都市立九条塔南小学校

校長 石原 通雄

4月17日に、本校6年生を対象に実施された「全国学力調査」について、結果がまとまりました。本調査は、国語と算数の2教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

### 総合結果(国語・算数)

どちらの教科も全国平均を上回る結果となりました。特に算数科は、全国平均を3ポイントも上回りました。児童一人ひとりが丁寧に問題に向き合い、諦めないで取り組もうとする姿勢がうかがえる結果となりました。

### 国語科より

特に記述式の問題の正答率が全国平均より大きく上回っていました。日頃から学んだことから自分が感じたことや次に生かしたいことなどをノートに書く活動を積み上げてきた成果だと思えます。

一方で、この問題を無回答にしている児童も多かったです。最後の問題ということもあり、時間がなかったことも理由にあがると思います。また、漢字を使って文の中で正しく書き直す問題も、無記入や正答率が低いことが目立ちました。

普段からの新出漢字の宿題だけでなく、漢字を使いこなすようになるためにも、辞書の活用や読書、自主学習などを積極的に行っていくことも大切だと思います。

**自主学習「あすいき」を  
レベルアップ!**



### 算数科より

基礎基本となる計算や目盛りを読む問題では正確に答えることができていました。また、分数の問題では、数や言葉を用いて考えを書く記述式の問題がよくできていました。国語科と同じで、日頃から学んだことを「今日の大事」としてまとめる活動の積み重ねが生きているのだと思います。

一方で、グラフやデーターから数量や関係を読み取って答える問題では、全国平均より2ポイント下回っています。昨年度もこの分野が苦手な傾向にあったため、引き続き、授業での取り扱いを大切にしていきたいと思います。

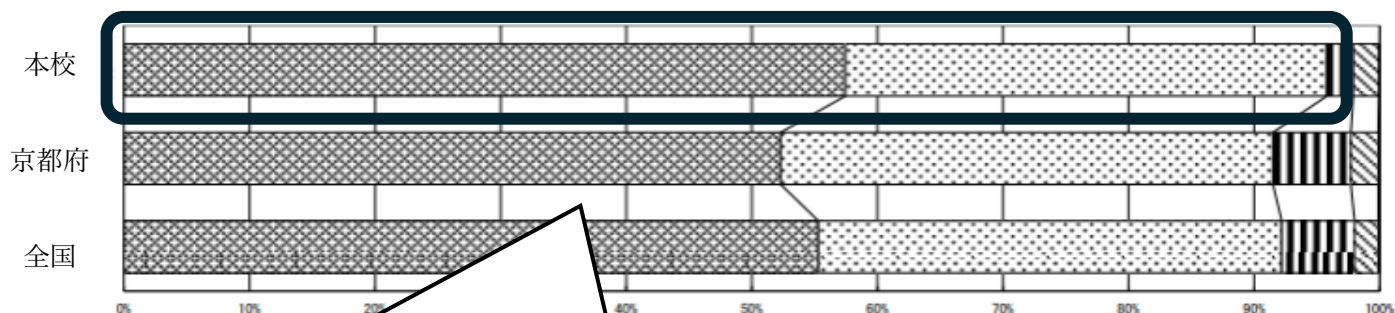
**しっかり復習を!**

**「図形」「数量」**



## 児童質問紙調査から①

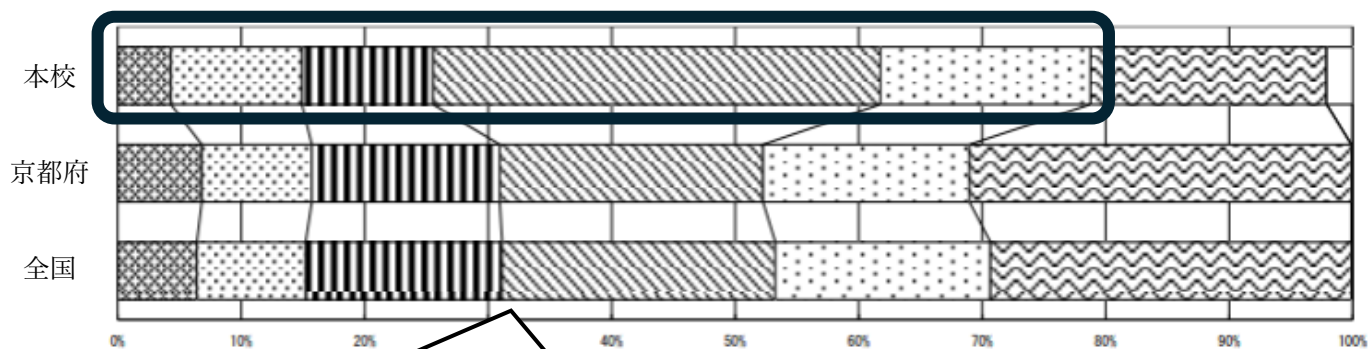
Q 先生は、あなたのよいところを認めてくれると思いますか



「当てはまる」と答えた本校の児童の割合は全国平均と比べて多くなっています。「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童の数も合わせると大きく上回っており、本校の教育方針を教職員が日々実践し、児童に届いている様子が伺えます。

## 児童質問紙調査から②

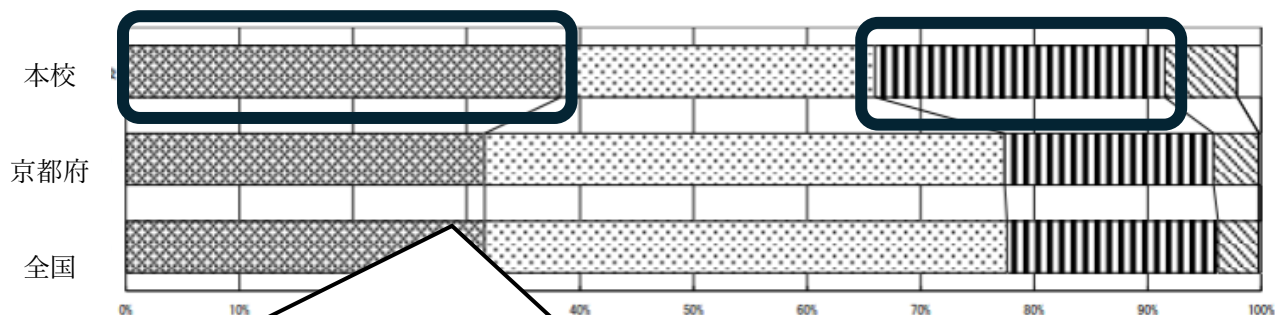
Q 学校の授業以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか



「2時間以上」「1時間以上、2時間より少ない」「30分以上、1時間より少ない」「10分以上、30分より少ない」「10分より少ない」を合わせると全体の約80%になります。また「全くしない」と答えた児童の割合が全国平均よりも大幅に下回っています。本校では朝に10分間の読書の時間を設けております。1日のスタートが読書で始まることで、そのあとの学習に集中して取り組めるようになるなど、よい効果もたくさん表れています。

### 児童質問紙調査から③

Q5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどのくらい当てはまりますか【自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる】



「とてもそう思う」と答えた児童の割合と、「あまりそう思わない」と答えた児童の割合が全国平均よりも多く、さらに二極化している結果となりました。授業でもICT機器を使った学習が増えていますが、児童にとっては使いづらさや苦手さを感じている場合もあることを理解し、より効果的な学習方法を考えていく必要があると考えます。

### 全体を通した本校の成果と課題

本校では「夢や希望に向かって、心豊かにたくましく輝く子の育成～自分から、そして自分たちの力で輝く九条塔南の子～」という教育目標のもと、保護者や地域の皆様のご協力を得て、取り組みを進めています。

具体的には、子どもたちが「自ら課題を見つけ、協同して解決に向けて行動していく力」を身につけるために、「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を学校だけでなく、家庭や地域全体で、みんなで育てていくことが重要だと考えています。その基盤となる「心」を育むために、教職員が一丸となって子ども一人一人を大切に学習活動を行っております。また、本に触れることは心に豊かさをもたらしてくれます。学習方法の確立と読書の習慣づけは、ある一定の成果が表れたのではないかと感じます。

ただ、この変わりゆく時代を生き抜く子どもたちにとって、ICT機器を使いこなすことは、もはや必修ではないかとも感じます。この夏、全学年のタブレットがiPadに変わりました。今までの学習の積み重ねで出来たことを生かしながら、新たな学習のツールとして、どの子どもが負担なく使えるように、ご家庭の協力も受け賜りながら、準備、実践していきたいと思ひます。

### 保護者の皆様へ

全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性を更にのばしたり、課題を解決したりするためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、順位を競うものでもありません。この調査をもとに、本校の児童の学力・学習の状況の傾向を知り、今後の教育活動に生かしていきたいと思ひます。

学力は、学校・家庭・地域で取り組んでいることが積み重なっていくことで、定着していきます。また、基本的な生活習慣や日々の学習習慣が学力の基盤となります。今後とも、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願いいたします。